

キャリア学習「20年後の未来と仕事」を実施しました

10月21日(金)の総合的な学習の時間に、キャリアナビゲーターより「20年後の未来と仕事」という授業を実施しました。

授業の内容

最初に、Society5.0 (※1)が実現した社会=仮想空間と現実世界が融合した社会のイメージ動画を視聴し、「2040年社会のイメージ(※2)」の図をタブレットで見ながら、

- 気になったもの・技術をピックアップする
- その技術によって新しくできるようになること
- 新しい技術によってなくなりそうな仕事について考えました。

<授業で使用した動画>
「20XX in Society 5.0
～デジタルで創る、私たちの未来～」(経団連)



▼Youtube動画

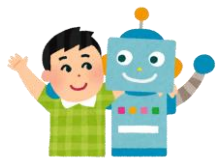


ソサエティゴーテンゼロ
※1「Society5.0」とは？
サイバー空間(仮想空間、メタバース)と現実空間を融合させたシステムで経済発展と社会課題解決を両立する、人間中心の社会。

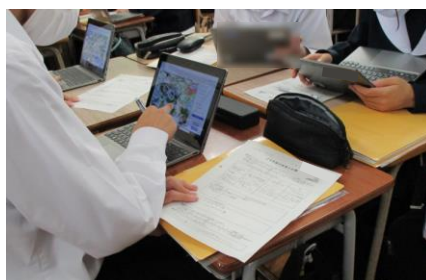
※2 「2040年社会のイメージ(一部)」(文科省)



▼全体版PDF



<2040年社会のイメージを見ながら話し合う様子>



2040年にどんな新しい技術が <人工知能やロボットに代わりにくい仕事(野村総研・オックスフォード大学)> 生まれるかを確認し、それによって なくなりそうな仕事を考えると同時に、技術が進化しても、人工知能やロボットに代わりにくい仕事もあることを学びました。

左の一覧はその一部ですが、これを見ながら、「人工知能やロボットに代わりにくい仕事の“共通点”」を考えました。

人工知能やロボットに代わりにくい仕事			資料 1
アナウンサー	獣医師	内科医	
インテリアデザイナー	ジュエリーデザイナー	日本語教師	
映画カメラマン	小学校教員	ネイルアーティスト	
映画監督	商品開発部員	バーテンダー	
音楽教室講師	助産師	俳優	
クラシック演奏家	スタイリスト	美容師	
ゲームクリエイター	スポーツインストラクター	ファッションデザイナー	
外科医	精神科医	舞台演出家	
作詞家	ソムリエ	保育士	
作曲家	大学・短期大学教員	報道カメラマン	
雑誌編集者	中学校教員	漫画家	
産婦人科医	テレビカメラマン	ミュージシャン	
歯科医師	テレビタレント	メイクアップアーティスト	
		料理研究家	

引用：株式会社野村総合研究所、英オックスフォード大学のマイケル A. オズボーン准教授およびカール・ベネディクト・フレイ博士との共同研究より

<生徒から挙がった意見(人工知能やロボットに代わりにくい仕事の“共通点”)>

・新しいものを作り出す仕事
 ・人や動物とふれあう仕事
 ・人の気持ちによりそったりする
 ・くり返しの同じ仕事をしない

・表現する仕事
 ・デザインなどアーティスト系
 ・コミュニケーションを必要とする仕事
 ・自分にしかできないものを作る仕事
 ・くり返しの同じ仕事をしない

臨機応変
 感情が関わる

この共通点で挙がったことが、今後人間だからこそできる・自分らしく仕事を
 していくヒントとなるのではと思います。



生徒の感想

保育士はなくなるとは聞いてたけど、もし将来なくなる職業に入りたい、進みたいと思うのうちに力を付けておこうと思った。

仕事が変わっても、技術が進化しても、自分らしくイキイキ働くためには、「やりたい仕事・職業」を考えるだけでなく、「(その仕事や職業を通して)何を実現したいか？」を考えることがとても大切になります。

「人の役に立ちたい!」「大好きな動物たちのために働きたい!」など、仕事・職業を通して実現したいこと、ぜひ考えてみてください。思い浮かばない人は、周りの友達やおうちの方など大人と一緒に考えることをおすすめします♪

キャラナビの
ひとこと

